

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高松市	香川県の県庁所在地である高松市は、瀬戸内海に面した交通の要所です。1988年に開通した瀬戸大橋（児島・坂出ルート）により、対岸の岡山県と鉄道・道路の両方で直接結ばれるようになりました。これにより、四国地方における物流や経済の拠点としての役割がより強固なものとなっています。
問2	答え 3 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかり上昇気流が発生するため	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出しますが、この風が暖流（対馬海流）の流れる日本海を渡る際、大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が本州中部の中国山地にぶつかって上昇することで雪雲が発達し、山陰側に多くの雪や雨を降らせます。このメカニズムにより、山陰地方は日本海側の気候の特徴を示し、冬の降水量割合が高くなります。
問3	答え 4 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問4	答え 1 年間降水量が約1300mmと比較的少なく、温暖な気候と水はけの良い傾斜地を活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、農業産出額の約4割を果実が占めている。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候が続くという特徴があります。愛媛県では、この乾燥しやすく温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地を有効に活用することで、みかんをはじめとする果実の生産が極めて盛んになっています。実際の統計においても、農業産出額に占める果実の割合は約40.2%に達しており、米の約10.9%や野菜の約16.4%と比較して非常に高いのが特徴です。なお、年間降水量が極めて多い選択肢は、高知県などの太平洋側の気候を説明したものです。
問5	答え 4 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候	日本の年間平均降水量は約1700mm程度ですが、瀬戸内地方の岡山県などは年間降水量が1000mm～1200mm程度と、国内でも特に雨が少ない地域です。資料に示された「1月の降水量が極端に少ない（冬の乾燥）」かつ「年間降水量が約1100mmと非常に低い」というデータは、二つの山地に挟まれて季節風の影響を受けにくい瀬戸内の気候の典型的な数値を示しています。
問6	答え 4 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県	本州四国連絡橋の「児島・坂出ルート」は、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結んでおり、その中心となるのが瀬戸大橋です。「神戸・鳴門ルート」は兵庫県と徳島県を、「尾道・今治ルート」は広島県と愛媛県を結んでいます。大阪府や山口県から直接四国へ架かっている連絡橋はありません。
問7	答え 1 野菜	高知県は、ビニールハウスを利用した促成栽培によって、なす、ピーマン、きゅうりなどの生産が非常に盛んです。そのため、農業産出額の内訳においては「野菜」の占める割合が全国平均と比較しても極めて高く、県を代表する農業の特色となっています。
問8	答え 2 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため。	瀬戸内地方の少雨の背景には、山地による地形的要因が深く関わっています。季節風が山地を越える際、風上の斜面で雨を降らせ、山を越えた後には乾燥した空気が流れ込みます。瀬戸内は二つの山地に挟まれているため、どちらの季節風からも影響を受けにくく、結果として年間降水量が少なくなります。このため、古くからため池の造成や塩田などの土地利用が盛んでした。
問9	答え 4 愛媛県	四国地方にある愛媛県は、年間を通じて温暖で晴天の日が多い気候や、水はけの良い傾斜地をいかしてみかんの栽培が盛んに行われています。和歌山県もみかんの生産量が全国トップクラスですが、和歌山県は近畿地方に属するという違いがあります。
問10	答え 3 複雑な海岸線をもつリアス海岸が広がり、波が穏やかな天然の良港を活かして大型船の建造が行いやすいため	瀬戸内工業地域に見られる特徴的な産業構造の背景には、その独特な地形があります。島々や岬に囲まれたリアス海岸は外海の影響を受けにくく、巨大な船舶を安定して組み立てるための「ドック」を建設するのに適しています。このため、鉄鋼などの他産業と比較しても、船舶の製造・修理といった造船業の比重が極めて高くなっています。
問11	答え 1 山口県	山口県は瀬戸内工業地域の一角を担っており、特に石油化学コンビナートなどが立地する沿岸部を中心に化学工業が発展しています。そのため、製造品出荷額に占める化学工業の割合が非常に高いことが最大の特徴です。三方を海に囲まれているため海岸線が長く、水産業も盛んですが、農業における果実生産の割合はそれほど高くありません。
問12	答え 2 広島県	広島県は、自動車産業を中心とした輸送用機械工業が非常に盛んな県です。統計データにおいて輸送用機械工業の割合が突出している点は、広島県の工業の大きな特徴です。一方、山口県は石油化学コンビナートによる化学工業、島根県は特殊鋼などの生産による鉄鋼業が比較的大きな割合を占めるという違いがあります。